

合力の考え方

図のように今回の実験において、背分力 F_z は加工に影響を及ぼしていないと考えたため、切削抵抗 F は送り分力 F_x と主分力 F_y の合力であると考えます。

そのため、切削抵抗 F の式は

$$F = \sqrt{F_x^2 + F_y^2}$$

となる。

